

処置前後の手洗いについて（お願い）

このたびの訪問看護ご利用開始にあたり、ご利用者様及びご家族の方々に
ご協力をお願いします。

◆在宅ケアにおいて手洗いはとても重要です。

人の手の表面には無数の微生物が付着しており、手を通じて病原性微生物の感染が
広がるおそれがあります。

このためご家族やケアスタッフがご利用者様の処置前後に、手洗いを行うことは最も
基本的な感染を予防する対策です。

◆正しい手洗いの方法は

- ① 手全体を水で十分に濡らした後、石鹸を手のひらにとり少なくとも 15 秒間、
十分に泡立てて全ての表面をこすり合わせましょう。
- ② 洗った後は、石鹸成分を十分に流水で洗い流します。
- ③ ペーパータオル等でやさしく抑えるように手を拭き乾燥させましょう。

* 下の写真を参考に洗い残しのないよう手洗いを行ってください。

- （赤） : もっとも手洗いをしそこないやすい部分
○（青） : やや手洗いをしそこないやすい部分



◆私たち訪問看護師は、安全で安心なケアを提供したいと考えております。

そこで、皆様を感染から守るため、また私たち自身が感染を媒介しないためにも、
ぜひ手洗いの実施とケアスタッフへ手洗い場の提供をしていただけますようお願い
致します。



〇〇訪問看護ステーション